

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 北海道留辺蘂高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒091-0026
北海道北見市留辺蘂町旭公園108番地5

E-mail rukou-z0@hokkaido-c.ed.jp

Website http://www.rukou.hokkaido-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 37名 女子 58名 合計 95名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○人間関係形成・社会形成能力の育成

～コミュニケーション能力全般を育むトレーニングの実施～

・コミュニケーショントレーニング

「産業社会と人間」、「LHR」や「総合的な学習の時間」を通して、構成的グループエンカウンター（SGE）やソーシャルスキルトレーニング、などを行い、担任・副担任を軸とした教員主導による集団カウンセリングを行った。

・生徒会による「No ケータイ day」

生徒会の主体的な活動として、生徒同士や教員との関係を深めるため、昨年に引き続き毎週木曜日に「No ケータイ day」を企画し、実施した。

・ユネスコスクール間の交流

北海道土幌高等学校の生徒会を招き、生徒会がESDで担う役割について考え、交流を通じて自校の生徒会活動の活性化を図った。

○国際理解教育の実施

・大学と連携した異文化交流

学校設定科目「外国事情」において、北見工業大学の准教授や留学生（パナマ・中国・韓国・マレーシア）を講師として招き、講話を通じた異文化理解や英語によるペアワークなどを通じたコミュニケーション能力の育成を図った。

・国際理解教室

昨年度に引き続いて、本校3階にALTが在駐する国際理解教室を設置し、昼休みや放課後などを利用した生徒の異文化コミュニケーションを促進した。

・英語スピーチ大会への参加

高校生対象の英語スピーチ大会に向け、ALTと協力して参加生徒の原稿作成指導、スピーチ指導を行った。

○人権・平和教育の実施

・世界一大きな授業の実施

学校設定科目「環境科学」（理科）と1年次の「産業社会と人間」で、貧困や紛争、ジェンダー教育などを取りあげ、国際的な平和や持続可能な教育の在り方について学んだ。

・JICA（帯広）による出前授業の実施

「世界と私」というテーマでJICA（帯広）の職員を招き、世界の食と文化、貧困、教育に関する授業を行った。

○環境・防災・エネルギー教育の実施

・地域に密着した自然体験活動とNPOとの連携・協働

NPO法人常呂川自然学校より講師を招き、留辺薬町の無加川（東無加川・大久保川）において、サケ等の川魚の生態や河川環境について調査研究する授業を実施した。また、プロジェクトWETなどを通じた、ワークショップやグループワークなど、アクティブラーニングの観点を取り入れた授業を展開した。

・世界遺産を学ぶ授業の実施

学校設定科目「環境科学」において、「守ろう地球のたからもの～豊かな世界遺産編～」を教材として使用し、世界遺産を学ぶ授業を行った。

・年3回のクリーン作戦の実施

生活環境の整備や、地域とのつながりを意識させるため、ボランティア生徒により通学路の清掃を定期的に行った。

・ペットボトルキャップの収集、贈呈

生徒会が呼びかけて集めたキャップを、発展途上国の子どもたちのワクチン代にあてる目的でボランティア団体に寄贈した。

○保育に関する教育の実施

- ・外部機関と連携した異年齢交流

地元の幼稚園や保育園と連携し、幼稚園教諭や保育士による講話や子どもとの交流実習（運動補助など）を実施した。また、休日を利用し、地元のボランティアグループ（あのねの会）とともに、絵本や紙芝居の読み聞かせや子どものための木工教室を行った。

- ・小学生を対象とした外国語活動の研究と実践

3年次の総合的な学習の時間において、課題研究英語ゼミ選択生徒による、地元の小学校での外国語活動と交流学習会の企画・運営を行った。

○福祉教育の実施

- ・介護施設での社会福祉実習

介護職員初任者研修修了の3年次生による、3日間の地元の特別養護老人ホームや、デイサービスセンターでの実習（夏季休業中）を行った。

- ・地域のイベントの運営協力

留辺薬町内で地域高齢者が集う「ふれあい広場 るべしべ芸能交流会」において、「総合的な学習の時間」の課題研究福祉ゼミの生徒が司会進行、会場設営や展示などの運営に携わった。

○教員間で ESD の共通理解を図る活動

- ・教科で ESD に取り組む体制づくり

観点別評価と ESD で求められる能力の育成を意識した授業改善を、全教科で行う体制づくりを行った。

- ・ESD 理解のための校内研修

各教科の年間指導計画の中に ESD の観点を組み込む方法を協議した。

- ・ESD ふりかえりシートの実施

ESD 全体計画をもとに、全教職員が「ESD ふりかえりシート」を記入し、自身の活動を総括する取り組みを年2回行った。

<活動の様子>



世界一大きな授業



環境科学での河川実習



家庭科での異年齢交流



コミュニケーショントレーニング



英語表現Ⅱの授業風景



クリーン作戦出発前

なお、活動の詳細については本校ホームページのトップ画面より、ESD 活動およびユネスコスクールに関する記事に記載してある。

URL: <http://www.rukou.hokkaido-c.ed.jp/> 「北海道留辺薬高等学校」

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 進路研究会での活動・生徒会での活動 ）